



新井田 昭 男 議員

いっぱん質問

問 人口減で自治体存亡の危機 町民の不安払拭を

答 人口減対策検討会議設置 対応に努める —— 町長

質問 木古内町の人口減対策については、過去にも一般質問を行い、最優先課題として抜本的対策を講ずるよう提案していますが、現状を見ても一向にその兆しが見えません。高齢化率42.6%、小中学生合わせても200人を切ろうとする自治体存亡の危機にあります。どのような方法や手段で町民への不安を払拭するのか、町長の見解を求めます。

①第6次木古内町振興計画に、具体的な対応策が明記されていないのはなぜなのか。
 ②これまでの人口減対策について、具体的な執行状況を聞きたい。
 ③過去の一般質問から2年が経過し、約280人が減少しているが、町長はどう感じているのか。
 ④20歳から39歳までの女性人口が2040年には半減し、当町では



子どもは町の宝。人口減に対する抜本的な対策を講ずることが求められています

2010年の331人から45人と、マイナス86.5%という減少率になり、全国で5位、全道で2位という異常事態の試算結果にどう立ち向かうのか。

大森町長 ①人口減や少子高齢化対策の具体的な施策は、実施計画で事業展開を図り、新たな施策は、実施計画を見直して対応していきます。

②保育料の軽減や中学生までの医療費の無料化、学校給食費の半額助成等を実施し、人口減対策や移住・定住化に努めています。

③財政健全化計画を進めながらも様々な施策を展開しており、長期的には期待はするものの、大変厳しく受け止めています。

④庁舎内に人口減対策検討会議を設置しました。年内を目処に、人口減少に関する対策を検討し、新幹線の開業や高規格道路の開通など、利便性の増す交通体系の活用についても議論を進めます。

再質問 町長の答弁内容では、何の危機感も情熱も感じません。町職員を含め、抜本的対策にどう立ち向かうかが知りたいのです。町民の不安を解消するという情熱はあるのですか。

大森町長 これまでは、それぞれの担当部署が専門的にやってきた事項です。対策会議では、横断的に深い議論をし、方向性が見えた段階で議会や町民のみなさんの意見を聞いて、この大きな問題の対応にあたっていきたいと考えています。